

陸上自衛隊との要援護者救護訓練を実施しました

大岸の杜

7月10日、10時から15時まで、陸上自衛隊第7師団 第71戦車連隊第5戦車中隊25名と自衛隊協力会4名、豊浦町担当課である企画調整課長、幸豊ハイツ・幸豊園・ほのぼの・ほのぼのからなる大岸の杜関係者で標記訓練を下記スケジュールの通り、実施しました。



当日スケジュール

午前：幸豊ハイツ及び幸豊園見学

認知症サポーター養成講座

午後：車椅子での移動介護演習

要援護者の大型車両への積載・
固定要領演習

ふりかえり

後半には、工藤豊浦町長も来られ、訓練の様子をご覧になりました。最後には、全体でふりかえりを行い、要援護者に対してどのようなことに配慮したら良いのか、移動方法についても反省点など出され、次につながる実り多い訓練となりました。

終了後、認知症サポーターの証であるオレンジリングをつけ全員で記念撮影を行い、希望者には訓練の一環として自衛隊車両の試乗もありました。



午後の演習の様子。5人1グループとなり、介護福祉士を保有している職員から、車椅子の各部名称の説明や操作方法、注意事項などのレクチャーを受けた後、実際に車椅子に乗り、介護者と要援護者の体験を全員がしました。



大型車両への積載訓練では、スロープによる積載と、人力で車いすを上げる方法とを行い、その後実際に車を走らせ、職員も乗り込み、体験しました。